

# WASLI会報2009 - 01



## 今月号の内容：

- ・会長の新年挨拶
- ・機会の創造：オーストラリア手話通訳者協会の集会参加に向けての資金調達
- ・聴覚障害者の人権にかかわる国際教育計画案プロジェクトセミナー
- ・第2回アジア・太平洋手話通訳者会議inネパール2008
- ・世界ろう連盟アジア・太平洋地域代表者会議、ポカラ、ネパール2008

## 会長の新年挨拶

みなさんは2009年が国際天文学年ということを知っていますか。これはガリレオの業績をたたえたもので、彼が1609年に発明した望遠鏡は新しい月の景色を与え、私たちの世界観を変える発見をしました。

WASLIはまだ設立して4年ですが、私たちとの関係やこの“WASLI望遠鏡”ともいべき会報を通して世界中で手話通訳の職業化について多くの発展を得てきました。この会報は世界各国の仲間たちの経験を共有する上で大きな力となりましたし、直面している課題への挑戦から学んできました。

WASLIは現在120カ国の通訳者たちと連絡を取り合っていますし、多くの通訳者はWASLIからの支援と助言を求めています。私たちはまだまだ小さな組織で、会員と選出された理事たちボランティアのエネルギーと熱意に頼っています。しかし、私たちは手話通訳の職業化に向けて変化をもたらすことができると信じています。

私たちはあなたが個人支援者として参加されることを願っています。先進国で高い収入を得ているみなさん、ぜひ貧しい収入しか得られない国の人々の会費を負担してください。

他のみなさん、情報の翻訳や実務グループへの参加など、あなたの技能を提供し私たちをボランティアとして支援してください。

WASLI理事会はあなたの参加を歓迎します。そして専門職としての基準を確立するために自国のろう団体と協力し、継続した活動をいたします。ガリレオのように、私たちは手話通訳者業界への新しい理解を見出すでしょう。+

リズ・スコット・ギブソン

リズ・スコット・ギブソン (WASLI会長) とオーストラリアの手話通訳者のマーク・ケイブ、



サウジアラビアラウ団体代表（モロッコでの会議で）

## 機会の創造：オーストラリア手話通訳者協会 全国集会2009

資金調達は、発展途上国の手話通訳者が今年のASLIA（オーストラリア手話通訳者協会）全国集会に参加できるための支援を可能にします。この集会は2009年8月21～23日、オーストラリアのメルボルンで開催されます。詳細についてはこちらにアクセスしてください。 [www.anc09.com](http://www.anc09.com).

資金はそれまで援助を得られなかった人たちに優先的に与えられるべきであり、援助を得られた応募者は集会の報告を書くことを期待されています。申し込み締切は2009年3月30日です。（締切厳守）

資金援助についての詳細は、スーザン・エマーソンまでメールしてください。 [susan@anc09.com](mailto:susan@anc09.com)  
WASLI会長のリズ・スコット・ギブソンと、

## 聴覚障害者の人権にかかわる国際教育計画案プロジェクトセミナー、ヘルシンキ、フィンランド

WASLIは世界ろう連盟の事業と、北欧ろう議会のろう者の人権に関する実態調査に貢献しました。この非常に重要な事業は次のろう団体と共同で行いました。

- ・ 東欧および中央アジア
- ・ アジア・太平洋
- ・ 南アメリカ
- ・ メキシコ、中央アメリカおよびカリブ海域
- ・ 東および南アフリカ

- ・ 西および中央アフリカ
- ・ アラブ地域

これは、世界各国の手話通訳制度の位置づけについての極めて興味深い情報を要約したものです。それに加えて、自国の手話、法制度、政策などとともに、ろう者の教育、雇用、公的サービスやメディアとの現状など、役立つ詳しい内容が書かれています。

WASLI会長のリズ・スコット・ギブソンは世界ろう連盟とヘルシンキにあるフィンランドろう連盟がこのテーマで開催したセミナーに参加しました。ろう団体の通訳サービス提供について、一番の共通ニーズは次の通りです。

- ・ どのように訓練するか
- ・ どのように認定されるか
- ・ どのように派遣されるか
- ・ どのように倫理綱領に同意するか

WASLI理事は上記の2項目についてはすでに作業グループを設立しており、早い時期にこの情報については幅広く利用できると希望しています。地域調査報告は次のアドレスからダウンロードできます。 <http://www.wfdeaf.org/projects.html>



## 第2回アジア太平洋手話通訳者会議2008、ネパール

**WASLIアジア地域代表**

**全国手話通訳問題研究会委員長**

**市川恵美子氏**

第2回アジア手話通訳者会議は2008年12月11日（木）にネパールのポカラで開かれました。この会議は12月10～12日に行われた第20回WFDアジア太平洋地域事務局代表者会議と並行して行われました。全国手話通訳問題研究会は市川恵美子委員長（WASLIアジア地域代表）を送り出し、他に国際部から3名が参加しました。

手話通訳者会議はマカオで2006年12月に開かれた第1回会議を受けて、手話通訳の位置づけの発展と通訳サービス促進の対策について話し合われました。

**アジア太平洋の4カ国と1地域から8名の通訳者が参加**

ネパールへの乗り継ぎ地点であるバンコック空港が会議直前に閉鎖されたこともあり、前回の会

議と比べ参加者が少なく、4カ国と1地域から（シンガポール、マカオ、ニュージーランド、ネパール、日本）8名の参加でした（この他ネパールからのオブザーバー8名参加あり）。WASLIアジア地域代表理事でもある全国手話通訳問題研究会委員長は、WFDアジアパシフィック事務局（全日本ろうあ連盟）と密にコンタクトを取りながら、アジア各国の通訳者たちに会議開催の情報を提供し、資料を準備し、会議の運営をしました。



ネパールでの通訳者会議。写真左から日本、ニュージーランド、ネパールの各代表

### アジア各国における通訳者組織/グループ設立について

アジアは、手話通訳に関する法律制定および供給において、他の地域に比べ遅れており、社会的地位も十分に保障されていません。そして、日本のようにろう者組織と協力して活動する通訳者組織やグループを設立した国は少ないのです。私たちはこの会議で、手話通訳の供給システムの確立と手話通訳者の社会的地位の向上のために、通訳者組織やグループ設立の必要性を話し合いました。最後に、情報交換とアジアの通訳者ネットワークでの協力を促進することを討議しました。

（写真説明）ネパールでの通訳者会議 参加者（左から）日本、ニュージーランド、ネパール

参加各国は、将来的にWASLI会員になることの意味を確認しました。また、私たちは通訳者組織やグループを設立するためには、ろう者組織の支援が不可欠であることを発見しました。いくつかの国は、WASLI地域代表として活動している日本（全通研）に、ろう者組織や他のアジアの国々に対してメッセージや情報を提供することを期待しています。

私たちは、2009年に開かれる第3回会議を2日間とすることと、アジア各国間で日常的に連絡を取り合うことを合意しました。また、日本（全通研）が引き続き次回の会議の調整役となることも確認しました。

### 全通研の役割の重要性

手話通訳者組織やグループの設立及びWASLIとともに活動する契機となったこの会議は、大きな成功をおさめました。全通研の歴史と活動はアジアの通訳者ネットワーク作りに大きな役割を果たしています。

また、会議に向けて全通研はシンガポールとマカオの通訳者の宿泊・食費（各400US\$）を、全通研会員などの寄付であるアジア手話通訳者基金から、援助することができました。2人の通訳者は感謝を表明し、会議のマークを刻んだ額を贈ってくれました。

## WFDアジア・パシフィック地域会議、ポカラ、ネ

# パール2008

デリス・マギル

**SLIANZ(ニュージーランド手話通訳者協会)会長**

この会議背景はこれ以上はないというほど雄大でした。ポカラはネパールヒマラヤとして有名なそびえ山々からほんの41キロしか離れていず、ホテルからは、世界でもたった14しかなく、その内8つがネパールにあるという8000メートル級の山の3つの頂を見ることができました。



主催者であるネパールの人たちは素晴らしく、私たちの滞在が記憶に残るものになるよう、常に気を配ってくれました。会議の2日間に観光を企画してくれました。最初は午後のバスツアーで、近くのデビィ・フォールという小さな滝で、地球の割れ目に水が流れ込んでいました。この水がどれほど深いところまで流れているかがわからなければ、この滝のすごさは実感できないでしょう。まず入口を見て、洞窟の中を歩き、その滝の裏側にたどり着きます。この通り道は気の弱い人や閉所恐怖症の人には合いません（私は両方に当てはまるので、その代りに地元の人と会いました）。

地上に出て、私たちは川の源であるポカラ中心部にある湖に行きました。現在は使用されていない王宮が湖畔に建っていました。今でも強固に防備されている様子は、まるで以前の君主制の遺産のようです。

ボートやゴンドラで湖に浮かぶ島にあるお寺に行くと、写真を撮る機会にもなり、ネパールの人々が持っている強い信仰の一例を感じさせてくれました。ツアーの最後は、湖のそばの土産物店で、地元ろう者の値切りテクニックで助けをもらいながらお土産を買いました。



2度目の観光は、すべての行程の中でもっとも印象深く、感動的なものでした。朝5時のバスに乗らされた私たちは、海拔1,400メートルからヒマラヤの山々にのぼる朝日を見たのです。その色や風景は言葉には表せませんし、写真ではこの出来事を正しく判定することはできません。これらは

**'Advance Centre for Deaf and Hearing Impaired**

**Students'** というフェイスブックで全てに見ることができますので、ご覧になりたい方はどうぞもちろん、この観光の間、WFDの会議に参加しましたし、1日アジア・太平洋地域の手話通訳者会議



が開かれました。

WFD会議では、参加各国がこの1年間の発行物や活動について概要を報告しました。ろう青年部は、各国の青年代表はWFD A/P会議の後輩という位置づけになると提案した。この提案は出席者全員の賛同を得、今年1年かけて具体化することになりました。市川恵美子と私は、それぞれWASLI地域として手話通訳者の現状について報告するよう要請がありました。恵美子さんはWASLIアジア地域代表として、私は大洋州オセアニア代表のジョージ・メイヤーの代理として報告しました。

会議では、大洋州・オセアニアの地図を使用したインパクトのある特別報告がなされました。皆さんの中には、WFD アジア太平洋が、アジアとオセアニアの地域に分かれることについての議論が



あったことに気がついた人がいると思います。アジア太平洋地域を続けるというのは、広大な地域を含むことになるが、2つのサブ地域に分けることで目標を早く達成することができます。地域マップを使っての報告のハイライトは、31カ国が地域に含まれることを示した時で、視覚的な表現は地域提案を分かりやすくしてくれました。

会議の最終日は、ろう団体を組織しようとする小国にどう援助するか、そして自然災害を被った地域内のすべての国への

支援についての議論になりました。緊迫した状況や天災など不幸に対処するため取り組んでいる国が通常援助を必要とする場合、障害者や少数グループの人たちはしばしば忘れ去られた存在になります。ろう社会は、いつも忘れられた範疇に陥っており、支援基金を受けられるかどうかという

き、ろう社会が必要であれば支援するということになり、もめてしまいます。この支援は全員一致が原則であり、将来を見据えてなされるものです。



手話通訳者会議は2日目に行われました。2008年での第1回マカオ会議では半日の会議でした。この会議で、もっと論議を深めるために日程を1日取ることを決定しました。言うまでもなく、多くの通訳者が一堂に会するのに1日で十分ではありません。恵美子さんはそれぞれの国が直面している日常課題を話すよう促し、参加者は効果的な戦略や解決方法などを助言しました。ニュージーランドと日本は先進的

な取り組みをしている立場から、他の小国に比べてアドバイスや支援をしましたが、通訳者集団はろう社会と協力し目的達成に向けて活動するという目的は共有しています。時間はあっという間に過ぎ、私たちは湖へのバス旅行の後夕食をとりながら会議をすることにしました。

たとえ1日半に延ばしても、年間通して議論すべきことはもっとあります。しかしながら、WFD A/P会議への出席が第一義的なものであることを考慮にいれなければなりません。私たちはWFD会議のオブザーバーとして参加するのか、あるいはWASLI会議に参加するのか。もし后者であるなら、何らかのワークショップを会議の一環として準備すべきでしょう。

WFD会議に、通訳者として参加することは貴重な体験となります。その経験は地域各国のろう社会の現状を目の当たりにし、地域でさまざまな活動を支えることができます。また、いろいろな国の通訳者に連帯の機会を提供し、長距離にわたる関係のなかで支援や指導の計画を作ることができるのです。

臨時のWASLI代表としてネパールに行きましたので、作業と財政が許せば再びオブザーバーとして参加するつもりです。この2つの会議は、私に専門職への情熱と国際手話の上達への願望という、新しい発見をもたらしました。



### **重要事項**

WASLI 理事会や外部からの寄稿者とともにこのニュースレターは作成されている。WASLI は発信した情報の信頼性を確保するように努めるが、発信された内容の正確性や意見についての責任は一切負わない。出典さえ明らかにすれば、このニュースレターで発信された情報を他の場所でも使用することができる。しかし、WASLI の公的な写真を使用する場合には [secretary@wasli.org](mailto:secretary@wasli.org) まで連絡し、許可を得なければならない。

寄付のお申し出は [austoceania@wasli.org](mailto:austoceania@wasli.org)  
メールアドレスの変更は、[secretary@wasli.org](mailto:secretary@wasli.org) まで。

### **WASLI 理事会**

リズ・スコット・ギブソン（会長）；ファン・ドゥルエッタ（副会長）；ゼイン・ハマ（事務局長）；ダニエル・バーチ（会計） 会計

### **地域代表**

市川恵美子（アジア）；ジョージ・メジャー（南洋州オセアニア）；フィレモン・アカッチェ（アフリカ）；セルマン・ホティ（バルカン）；マルコ・ナルディ（ヨーロッパ）；ホセ・ルイス・ブリエバ・パディラ（ラテンアメリカ）；デブ・ラッセル（北アメリカ）；アンナ・コマロワ（ロシア・コーカサス・中央アジア）